

# 権利擁護ネットワークにつなげるための初期対応チェックシート

～支援者として目の前にある当事者の困りごとを見逃さない～

チェック欄	着眼点	
□	生活課題の端緒を発見し、本質的な課題を予測する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一つひとつの相談を、丁寧に慎重に受けとめる。</li> <li>・ 本質的な生活課題（隠れた課題、本人や家族が気づいていない課題等）を予測する。</li> <li>・ 将来起こりうる生活課題を想定する。</li> </ul>
□	関係機関に状況を確認する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活課題の事実確認に必要な情報を整理する。</li> <li>・ 必要な情報を持つ関係機関を想定する。</li> <li>・ 予測した支援課題を関係者に伝え、情報収集する。</li> </ul> <p>※関係機関のネットワーク（個別支援チーム）づくりを意識する</p>
□	本人や家族と面談する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人と家族、それぞれと個別に話を聞く場を設ける。</li> <li>・ 本人や家族の生活歴等を聞き取り、価値観を探る。</li> <li>・ 本人や家族がどのような生活を望んでいるか、どのように生活課題を解決したいと考えているか聞きとる。</li> </ul>
□	本人や家族の視点に立ち、生活課題を再度整理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集めた情報から、緊急性を判断する。</li> <li>・ 集めた情報から、生活課題の取り組み順位を整理する。</li> <li>・ 支援方針と役割分担の職員案をつくる。</li> </ul> <p>※関係機関のネットワーク支援を意識する</p>
□	関係機関とともに、支援方針と役割分担を検討する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関に職員案を提案し、意見を求める。</li> <li>・ 関係機関とのケース会議を設定する。</li> <li>・ 関係機関と職員案を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>－ 職員の予測した生活課題、支援方針を検証する</li> <li>－ 本人や家族の視点に近づく（職員の価値観から離れる）</li> </ul> </li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>*事例検討の注意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終的な方針を決めるのは本人です。支援者が提案する方針がひとつである必要はありません。</li> <li>・ 関係者の考えに正解も不正解もありません。お互いの意見を尊重し、話しやすい雰囲気づくりに協力しましょう。</li> </ul> </div>
□	関係機関の実情に沿った役割分担を再度調整する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人や家族の受け入れやすい役割分担を検討する。</li> <li>・ 関係機関が動きやすい方法を検討・調整する。</li> <li>・ 関係機関が主体的に判断し、行動できるように調整する。</li> </ul>
□	対応期限をもって、支援経過を共有する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対応期限を共有し、関係機関の支援経過を集約する。</li> <li>・ 経過報告（状況変化、支援の成果等）を欠かさない。</li> </ul>